

平成 21 年 10 月 30 日

各位

会社名 日本風力開発株式会社
代表者名 代表取締役社長 塚脇 正幸
(コード番号 2766 東証マザーズ)
問合せ先 取締役常務執行役員 小田耕太郎
(電話 03-3519-7250)

六ヶ所村スマートグリッド実証モデル実施計画に関するお知らせ

現在、地球温暖化をはじめとする環境問題が、喫緊の課題として広く認識されております。我々には先進的な技術を用いて人類の生活の質を高めていくことと、CO2 削減等による環境問題への配慮とを両立させた「社会・地球の持続可能な発展への貢献」として、サステイナブルな（持続可能な）社会の構築を進めていく責務があります。

日本風力開発株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：塚脇 正幸）は、青森県六ヶ所村の支援のもと、環境問題に対する意識の高い、日本の最先端企業の技術を結集させ、サステイナブルな社会の構築を目指したスマートグリッド実証モデルを実施することを決定し、本日、青森県六ヶ所村との間で「基本協定書」を締結いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 協定内容

青森県六ヶ所村で開発中の「尾駁レイクタウン北」内で、日本風力開発株式会社、子会社である二又風力開発株式会社、イオスエナジーマネジメント株式会社およびエネルギー戦略研究所株式会社（以下、「日本風力開発グループ」という。）が計画しているスマートグリッド実証モデル実施計画に関し、六ヶ所村が支援・協力をすることで合意した。

2. 実証モデル実施内容

(1) 「尾駁レイクタウン北」内の分譲地を日本風力開発グループ、もしくは本プロジェクトに参加する企業が購入し、『スマートハウス』実証棟数戸を建設する。

『スマートハウス』・・・家電製品を含む家庭内で使用するエネルギー等についての需要情報と電力の供給情報の双方を活用することによって最適制御された次世代型住宅

(2) 日本風力開発グループが六ヶ所村で運転中の世界初の大型蓄電池併設型風力発電所「六ヶ所村二又風力発電所」から自営線を通じて、『スマートハウス』に対するすべての電気に100%CO₂フリー電気の直接供給を行う。また六ヶ所村役場および関連施設の電力使用の一部にも直接供給を実施することの検討を行う。

(3) 日本風力開発グループもしくは本計画に参加する企業は、六ヶ所村二又風力発電所内の大型蓄電池による電力供給制御システムと電気供給先の需要動向監視（デマンド・モニタリング）による需要制御を行なうことにより電力の需給バランス調整を実施する。

(4) 日本風力開発グループもしくは本計画に参加する企業は、『スマートハウス』実証棟において、最高効率のエネルギー利用住居を構築し、住居内電力の最適化を図る。

(5) 新設する実証棟、六ヶ所村役場および関連施設に、プラグインハイブリッド車、電気自動車を配置、また車両用充電設備を設置し、各スマートグリッド/マイクログリッド設備との融通性を検証し、サステイナブル・モビリティの普及課題調査を行う。

3. スケジュール

現時点では次のスケジュールを予定しております。

平成 21 年 10 月	実証モデル実施に関する基本協定締結 (青森県六ヶ所村、日本風力開発株式会社)
平成 22 年 3 月末まで	実証モデル実施 参加企業の決定、実証内容詳細の合意
平成 22 年 4 月から 7 月	実証モデル施設、設備構築
平成 22 年 8 月	実証モデル実施開始

4. 実証モデル 参加予定企業

本実証モデルに参加する予定の団体・企業は次の通りです。

- ・ 青森県六ヶ所村
- ・ トヨタ自動車株式会社
- ・ 株式会社日立製作所
- ・ パナソニック 電工株式会社
- ・ スパークス・グループ株式会社
- ・ 日本風力開発株式会社
- ・ 二又風力開発株式会社（六ヶ所村および日本風力開発株式会社出資会社）
- ・ イオスエナジーマネジメント株式会社（日本風力開発株式会社子会社）
- ・ エネルギー戦略研究所株式会社（日本風力開発株式会社子会社）

5. 今後の見通し

実証モデル実施の詳細は平成 22 年 3 月末までに詳細の決定を行ってまいります。現時点では、本計画に対し、最大で 3 億円程度の新規投資を見込んでおります。

尚、当社の今期業績に対する影響は軽微です。

以 上

本件照会先：
日本風力開発株式会社
管理部 IR グループ
TEL：03-3519-7494

六ヶ所村スマートグリッド実証モデル 概略イメージ

電力の供給サイドと需要サイドの情報ネットワークにより、電力利用を最適化。
電源は、風力発電と分散型電源により CO₂ フリーのグリッドを実現。

CO₂ フリーの電力供給

二又風力開発株式会社
日本風力開発株式会社

グリッド全体の需給管理

株式会社日立製作所
イナジブ・マネジメント株式会社

電力の高効率消費

サステナブル・モビリティ
の普及課題調査

トヨタ自動車株式会社
株式会社日立製作所
パナソニック電工株式会社
イナジブ・マネジメント株式会社

上流

電源(風力発電所):
風力発電所に蓄電池を併設して
いることにより、電力需要に合わ
せて電力を供給する。



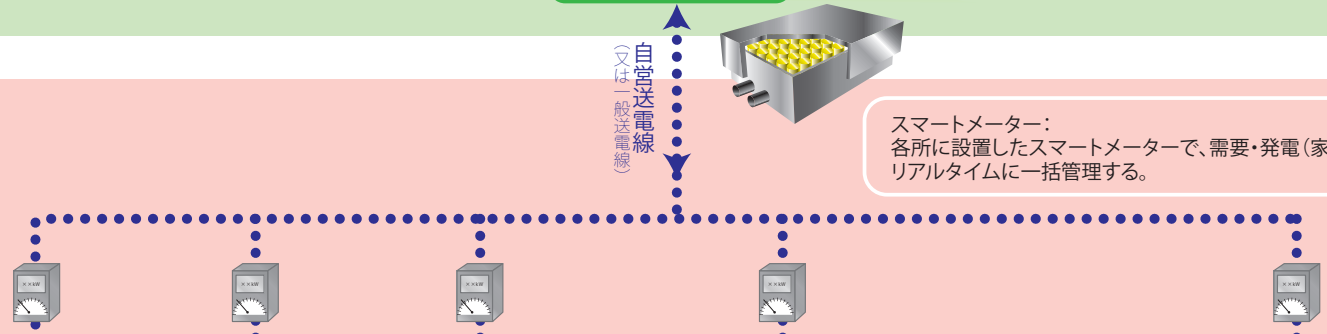
六ヶ所村二又風力発電所

プロジェクトマネージャー

日本風力開発株式会社
エネルギー戦略研究所株式会社
スパークス・グループ株式会社

中流

スマートメーター:
各所に設置したスマートメーターで、需要・発電(家庭用太陽光を含む)を
リアルタイムに一括管理する。



自営送電線
(又は一般送電線)

下流

六ヶ所村関連施設

充電ステーション

二又風力関連施設

既存設備:
省エネ設備の導入
施設駐車場:
充電スタンドの設置

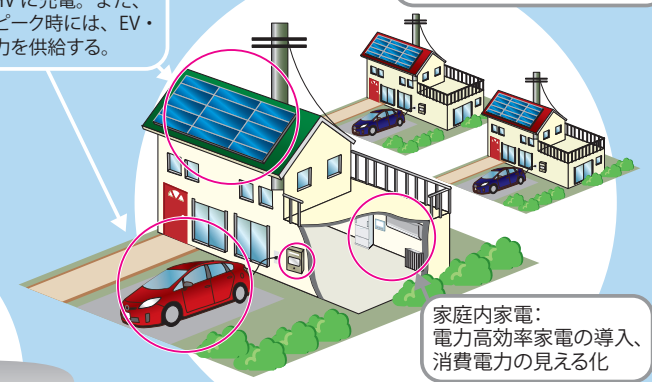
モデル地域内数箇所:
充電ステーションを設置

共同駐車場:
充電スタンドの設置

スマートハウス(集合)

移動手段 EV・PHV:
家庭内の電力(PV・小型蓄電池)
からEV・PHVに充電。また、
電力需要のピーク時には、EV・
PHVから電力を供給する。

直交流電気を使い分ける
「家の電気のハイブリッド化」



家庭内家電:
電力高効率家電の導入、
消費電力の見える化

スマートハウス(戸建)

新設戸建/集合住宅:
完全スマート化(高効率な省エネ設備の導入)
PV・小型蓄電池の設置

電気の流れ